

小泉・本沼地区圃場整備工事の現場状況紹介

小泉・本沼地区（益子町小泉、本沼地内）では、平成30(2018)年度から県営農地整備事業に着手しました。令和元(2019)年度から工事が行われており、令和2年度までに、地区の約4割を超える25ha(主に本沼地区)の整備が完了しました。今年度は、小泉地区の畑16haの圃場整備工事、本沼地区の水田11haの暗渠排水工事、深井戸設置工事に着手しています。

今回は、その中で圃場整備工事について紹介したいと思います。

今、現場では畑の土台となる基盤面を大型重機により作っているところです。本地区は、もともと勾配がきつい地形であり、傾斜のある小さな畑が多く存在していました。そのため営農の効率はあがらず、また大雨が降ると表面の土が流れてしまい、作物や周囲の農業施設にも支障が出ていました。圃場整備工事の目的のひとつに、農地の大区画化がありますが、本地区では農家が効率的に営農に取り組めるよう、大区画化に加え、傾斜を緩やかにした畑を計画しており、大規模に土を動かして工事を行っています。

工事完了後には、小泉・本沼地区の営農組合を中心に、麦、そばをはじめ、にんじんやしょうが、サツマイモ等、幅広い作物の生産に取り組んでいく予定です。



施工中の写真（ドローンより）



基盤整地中の写真